



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社

コード番号 4536 URL <https://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷内 樹生

問合せ先責任者 (役職名) IR室 室長 (氏名) 板垣 香里 TEL 06-7664-8621

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	118,905	0.1	25,690	0.2	19,687	4.7	19,703	4.7	49.33	49.21
2020年3月期第2四半期	118,775	3.9	25,639	6.2	18,794	5.6	18,814	5.7	47.14	47.00

#### IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	118,905	0.1	18,686	△1.7	18,353	△0.3	13,698	4.3	13,813	5.1	18,512	139.6
2020年3月期第2四半期	118,775	3.9	19,011	△8.7	18,408	△7.0	13,129	△8.7	13,148	△8.6	7,725	△65.4

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	34.58	34.50		
2020年3月期第2四半期	32.94	32.85		

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	420,021	315,634	316,061	75.2	791.30		
2020年3月期	408,768	302,560	302,865	74.1	758.50		

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 27.00
2021年3月期	—	14.00			
2021年3月期 (予想)			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△2.7	52,000	4.0	38,700	7.8	97.67

#### IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△2.7	35,000	4.4	34,000	5.9	23,000	5.9	58.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

上記の業績予想は、当社において新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の収束時期を地域別に仮定を置いて見積もったものであり、実際の業績等は状況により変動する可能性があります。今後、変動額が通期業績予想の修正をすべき水準となった場合には、速やかに開示します。IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

なお、当第2四半期連結会計期間において、Eyeavance Pharmaceuticals Holdings Inc.を買収したことにより、同社および同社の子会社であるEyeavance Pharmaceuticals LLCを新たに連結の範囲に含めています。

また、Verily Life Sciences LLCとの合併会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLCを設立したため、同社を新たに持分法適用の範囲に含めています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	400,151,754株	2020年3月期	400,028,254株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	547,909株	2020年3月期	608,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	399,394,844株	2020年3月期2Q	399,107,321株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2020年3月期末 16,430株、2021年3月期2Q 16,430株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年11月6日（金）に証券アナリスト、機関投資家向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書 .....	9
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(企業結合) .....	15
(重要な後発事象) .....	16
3. 連結参考資料 .....	17
(1) 主要製品売上収益 .....	17
(2) 開発状況 .....	18
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費 ..	19
(4) 主要通貨為替レート .....	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第2四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1 (P4参照)

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	118,775	118,905	0.1%
コア営業利益	25,639	25,690	0.2%
コア四半期利益	18,794	19,687	4.7%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	18,814	19,703	4.7%

[売上収益]

前年同期と比べ0.1%増加し、1,189億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の環境下でも堅調に推移し、前年同期と比べ1.8%増加し、1,115億円となりました。地域別には、日本、アジアで継続的に売上伸長しています。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	71,153	12,729	8,985	18,045	575	111,486
	3.9%	△6.9%	4.8%	△0.8%	4.1%	1.8%
一般用医薬品	4,827	—	177	—	—	5,004
	△26.4%	—	15.0%	—	—	△25.4%
医療機器	1,336	1	—	380	—	1,717
	△17.6%	—	—	75.0%	△100.0%	△6.6%
その他	635	28	35	—	—	698
	△5.2%	△18.7%	△14.0%	—	—	△6.3%
合計	77,950	12,758	9,197	18,425	575	118,905
	0.8%	△6.9%	4.9%	0.1%	4.0%	0.1%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国または地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、ヨーロッパ、中東およびアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

前年同期と比べ3.9%増加し、712億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。なお、第1四半期において、「アイリーア硝子体内注射液※<sup>2</sup>（P4参照）」のプレフィルドシリンジ製剤である「アイリーア硝子体内注射用キット」を発売しました。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	46億円	（対前年同期増減率	△ 2.3%）
「タプコム配合点眼液」	13億円	（対前年同期増減率	+ 3.9%）
「コソプト配合点眼液」	38億円	（対前年同期増減率	+ 0.7%）
「エイベリス点眼液」	12億円	（対前年同期増減率	+89.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	61億円	（対前年同期増減率	△21.8%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液※ <sup>3</sup> （P4参照）」	77億円	（対前年同期増減率	+56.0%）
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液※ <sup>2</sup> 」	333億円	（対前年同期増減率	+ 8.3%）

◇中国

円換算ベースで前年同期と比べ6.9%減少し（為替影響を除いた成長率は△3.5%）、127億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・角結膜疾患治療剤領域			
「ヒアレイン点眼液」	48億円	（対前年同期増減率	△ 2.0%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	49億円	（対前年同期増減率	△16.9%）

◇アジア（中国除く）

円換算ベースで前年同期と比べ4.8%増加し（為替影響を除いた成長率は+7.9%）、90億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	10億円	（対前年同期増減率	△ 0.8%）
「タプコム配合点眼液」	2億円	（対前年同期増減率	+23.8%）
「コソプト配合点眼液」	21億円	（対前年同期増減率	+ 3.3%）

◇EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ0.8%減少し（為替影響を除いた成長率は△1.0%）、180億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	33億円	（対前年同期増減率	+ 4.4%）
「タプコム配合点眼液」	14億円	（対前年同期増減率	+22.0%）
「コソプト配合点眼液」	48億円	（対前年同期増減率	+ 3.7%）
「トルソプト点眼液」	14億円	（対前年同期増減率	+ 4.9%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis（アイケルビス）」	17億円	（対前年同期増減率	+17.5%）

<一般用医薬品>

前年同期と比べ25.4%減少し、50億円となりました。

インバウンド需要の減退などにより減収となりましたが、「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に引き続き注力しています。なお、当第2四半期においては、ヒアレイン点眼液0.1%のスイッチOTC医薬品「ヒアレインS」を発売しました。

<医療機器>

前年同期と比べ6.6%減少し、17億円となりました。

眼内レンズの「レンティス コンフォート」と「エタニティ」シリーズの普及促進活動に注力しています。

<その他>

その他の売上収益は7億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ1.8%減少し、692億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ3.1%減少し、324億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ2.5%減少し、111億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ0.2%増加し、257億円となりました。

※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

※3 アレジオンLX点眼液を含みます。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	118,775	118,905	0.1%
営業利益	19,011	18,686	△1.7%
四半期利益	13,129	13,698	4.3%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	13,148	13,813	5.1%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

売上総利益について、コアベースからの調整はありません。

IFRS（フル）ベースの販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ0.5%減少し、332億円となりました。コアベースの販売費及び一般管理費に加え、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の買収に伴う一過性の費用が9億円発生しました。

研究開発費は、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ1.2%減少し、49億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc.（米国）から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」に関する無形資産、ならびに2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得した「DE-128（PRESERFLO MicroShunt）」に関する無形資産（2019年4月より償却開始）の償却によるものです。

その他の収益は、3億円となりました。

その他の費用は、16億円となりました。これは主に、InnFocus, Inc.（米国）買収に伴う条件付対価の公正価値の変動によるものです。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ1.7%減少し、187億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、6億円となりました。

金融費用は、9億円となりました。

法人所得税費用は、47億円となりました。グループ内の法人の利益構成比の変動等により、税負担率が、前年同期より減少しました。

これらにより、四半期利益は前年同期と比べ4.3%増加し、137億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ5.1%増加し、138億円となりました。売上収益に対するその比率は、11.6%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF<sub>2</sub>α誘導体およびβ遮断剤の配合剤DE-111（STN10111、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月に第Ⅲ相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬DE-117（STN10117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2018年9月に第Ⅲ相試験を開始しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは、順次販売承認を申請しており、韓国などで2019年12月以降、順次販売承認を取得しています。

FP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（STN10126、一般名：sepetaprost）は、米国および日本で、後期第Ⅱ相試験を完了しています。

緑内障用デバイスDE-128（STN20001）は、米国で2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了しました。欧州では、2019年1月に発売しました。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請しています。

プロスタグランジンF<sub>2</sub>α誘導体の乳化点眼剤DE-130A（STN10130、一般名：ラタノプロスト）は、欧州およびアジアで2019年4月に第Ⅲ相試験を開始しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

DE-109（STN10109、一般名：シロリムス）は、米国で2018年12月にぶどう膜炎を対象とする追加の第Ⅲ相試験を開始しました。

<その他疾患領域>

DE-127（STN10127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、アジアで2020年4月に近視を対象とする第Ⅱ相試験を終了しました。日本では、2019年8月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を開始しました。

白内障手術後無晶体眼に挿入する乱視用（トーリック）眼内レンズMD-16は、日本で2019年11月に製造販売承認を取得しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、既存開発コード（DE-XXX）および新開発コード（STNXXXX）を併記しています。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第2四半期末の資産は、4,200億円となりました。現金及び現金同等物および営業債権及びその他の債権の減少などがあった一方、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の買収に伴う無形資産および金融資産の増加などにより前期末と比べ113億円増加しました。

資本は、3,156億円となりました。その他の資本の構成要素および利益剰余金の増加などにより前期末と比べ131億円増加しました。

負債は、1,044億円となりました。InnFocus, Inc.（米国）買収に伴う条件付対価の公正価値の変動および支払による金融負債および法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少などにより前期末と比べ18億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ1.1ポイント増加し、75.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、184億円の収入（前年同期は、236億円の収入）となりました。主に四半期利益137億円、減価償却費及び償却費82億円、営業債権及びその他の債権の減少64億円、法人所得税の支払70億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、447億円の支出（前年同期は、19億円の支出）となりました。主にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の買収に伴う子会社株式の取得による支出239億円、jCyte, Inc.（米国）とのライセンス契約等に伴う無形資産の取得による支出111億円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、68億円の支出（前年同期は、60億円の支出）となりました。主に配当金の支払56億円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末と比べ327億円減少し、587億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2020年5月8日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	118,775	118,905
売上原価	△48,302	△49,705
売上総利益	70,473	69,199
販売費及び一般管理費	△33,422	△33,242
研究開発費	△11,412	△11,123
製品に係る無形資産償却費	△4,937	△4,878
その他の収益	160	350
その他の費用	△1,851	△1,620
営業利益	19,011	18,686
金融収益	518	566
金融費用	△1,121	△883
持分法による投資損失	—	△17
税引前四半期利益	18,408	18,353
法人所得税費用	△5,279	△4,655
四半期利益	13,129	13,698
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△747	4,170
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△4,658	644
その他の包括利益	△5,404	4,814
四半期包括利益合計	7,725	18,512
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	13,148	13,813
非支配持分	△19	△115
四半期利益	13,129	13,698
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	7,866	18,634
非支配持分	△142	△122
四半期包括利益合計	7,725	18,512
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	32.94	34.58
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	32.85	34.50
＜コアベース＞		
売上収益	118,775	118,905
コア営業利益	25,639	25,690
コア四半期利益	18,794	19,687
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	47.14	49.33
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	47.00	49.21
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	18,814	19,703
非支配持分	△19	△16
コア四半期利益	18,794	19,687

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	35,601	36,219
無形資産	119,850	148,021
金融資産	30,848	39,229
持分法で会計処理されている投資	—	5,273
繰延税金資産	2,100	2,445
その他の非流動資産	1,813	1,750
非流動資産合計	190,212	232,938
流動資産		
棚卸資産	35,282	40,111
営業債権及びその他の債権	86,999	81,321
その他の金融資産	452	572
その他の流動資産	4,392	6,334
現金及び現金同等物	91,430	58,745
流動資産合計	218,556	187,083
資産合計	408,768	420,021

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,366	8,411
資本剰余金	8,746	8,763
自己株式	△1,033	△931
利益剰余金	273,422	281,643
その他の資本の構成要素	13,364	18,175
親会社の所有者に帰属する持分合計	302,865	316,061
非支配持分	△305	△427
資本合計	302,560	315,634
<b>負債</b>		
非流動負債		
金融負債	27,592	26,442
退職給付に係る負債	1,738	2,260
引当金	570	588
繰延税金負債	7,228	7,902
その他の非流動負債	1,483	1,463
非流動負債合計	38,611	38,654
流動負債		
営業債務及びその他の債務	32,578	32,507
その他の金融負債	18,777	18,981
未払法人所得税等	6,848	5,930
引当金	633	633
その他の流動負債	8,761	7,681
流動負債合計	67,597	65,732
負債合計	106,208	104,387
資本及び負債合計	408,768	420,021

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2019年4月1日残高	8,252	8,661	△1,131	258,659	—	10,230
四半期包括利益						
四半期利益				13,148		
その他の包括利益						△747
四半期包括利益合計	—	—	—	13,148	—	△747
所有者との取引額						
新株の発行	35	35				
自己株式の取得				△0		
自己株式の処分		△112	121			
配当金				△5,189		
株式報酬取引		47				
その他				833		△833
所有者との取引額合計	35	△30	121	△4,356	—	△833
2019年9月30日残高	8,287	8,631	△1,011	267,452	—	8,651

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2019年4月1日残高	5,428	802	16,461	290,900	1,672	292,572
四半期包括利益						
四半期利益			—	13,148	△19	13,129
その他の包括利益	△4,535		△5,282	△5,282	△122	△5,404
四半期包括利益合計	△4,535	—	△5,282	7,866	△142	7,725
所有者との取引額						
新株の発行		△43	△43	28		28
自己株式の取得			—	△0		△0
自己株式の処分			—	9		9
配当金			—	△5,189		△5,189
株式報酬取引			—	47		47
その他			△833	—		—
所有者との取引額合計	—	△43	△876	△5,105	—	△5,105
2019年9月30日残高	893	760	10,303	293,662	1,530	295,192

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2020年4月1日残高	8,366	8,746	△1,033	273,422	—	11,150
四半期包括利益						
四半期利益				13,813		
その他の包括利益						4,170
四半期包括利益合計	—	—	—	13,813	—	4,170
所有者との取引額						
新株の発行	45	45				
自己株式の処分		△65	102			
配当金				△5,592		
株式報酬取引		38				
所有者との取引額合計	45	18	102	△5,592	—	—
2020年9月30日残高	8,411	8,763	△931	281,643	—	15,319

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2020年4月1日残高	1,529	686	13,364	302,865	△305	302,560
四半期包括利益						
四半期利益			—	13,813	△115	13,698
その他の包括利益	652		4,821	4,821	△8	4,814
四半期包括利益合計	652	—	4,821	18,634	△122	18,512
所有者との取引額						
新株の発行		△10	△10	80		80
自己株式の処分			—	36		36
配当金			—	△5,592		△5,592
株式報酬取引			—	38		38
所有者との取引額合計	—	△10	△10	△5,438	—	△5,438
2020年9月30日残高	2,180	676	18,175	316,061	△427	315,634

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	13,129	13,698
減価償却費及び償却費	8,202	8,184
減損損失	—	198
持分法による投資損益（△は益）	—	17
金融収益及び金融費用（△は益）	△268	△285
法人所得税費用	5,279	4,655
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	5,449	6,380
棚卸資産の増減（△は増加）	558	△4,126
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△864	△404
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	△474	462
その他	△226	△3,585
小計	30,786	25,193
利息の受取額	52	76
配当金の受取額	260	246
利息の支払額	△92	△82
法人所得税の支払額	△7,419	△7,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,588	18,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△121	△2,452
投資の売却による収入	1,671	—
子会社株式の取得による支出	—	△23,893
持分法で会計処理される投資の取得による支出	—	△5,349
有形固定資産の取得による支出	△2,792	△1,920
無形資産の取得による支出	△1,633	△11,106
その他	967	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,908	△44,734
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	588	148
配当金の支払額	△5,182	△5,592
リース負債の返済による支出	△1,396	△1,407
その他	28	80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,962	△6,771
現金及び現金同等物の増減額	15,717	△33,077
現金及び現金同等物の期首残高	70,796	91,430
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△1,542	391
現金及び現金同等物の四半期末残高	84,972	58,745

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(1) 企業結合

(Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.およびEyevance Pharmaceuticals LLCの取得)

① 企業結合の概要

(a) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称: Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.

Eyevance Pharmaceuticals LLC

事業の内容 : 最適な視力とより高いQOL(生活の質)実現に向けた、革新的でインパクトのある点眼用眼科製品の開発・販売

(b) 企業結合を行った理由

Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.およびEyevance Pharmaceuticals LLCは、眼表面および前眼部の領域において、点眼薬の開発・販売を行っており、現在は、抗炎症、抗アレルギー、抗真菌、涙液の潤滑のための点眼薬、および抗菌と抗炎症の配合点眼薬を提供しています。また、米国全土の眼科医、検眼医、アレルギーを専門とする医師を対象とした同社のナショナルセールsteamが、その販売活動を担っています。

Santenグループは、本買収を通じて、米国での事業基盤を早期に確立し、より多くの患者さんのニーズに真摯に向き合い、さらなる価値を提供します。同時に、米国へのアクセス、そしてプレゼンスを獲得することで、グローバルにおける事業展開を加速させ、眼科医療への一層の貢献とさらなる企業成長を目指します。

(c) 取得日

2020年9月16日(米国時間)

(d) 被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価としてEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.の発行済株式の100%を取得しています。

(e) 取得した議決権付資本持分割合

100%

② 取得資産及び負債の公正価値、取得対価の内訳

(単位：百万円)

	暫定的な公正価値
非流動資産	4,433
流動資産	838
現金及び現金同等物	1,099
非流動負債	△321
流動負債	△564
のれん	19,508
合計	24,992
現金	24,992
取得対価合計	24,992

これらの金額は、要約四半期連結財務諸表の作成時点において、評価検証が未了のため、暫定的な金額で報告しています。

当該企業結合に係る取得関連費用とし855百万円を「販売費及び一般管理費」に計上しています。

③ キャッシュ・フロー情報

(単位：百万円)

	金額
支払対価の公正価値の合計	24,992
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△1,099
子会社株式の取得による支出	23,893

④ Santenグループの業績に与える影響

要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に含まれる取得日以降にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.およびEyevance Pharmaceuticals LLCから生じた損益は、重要性が乏しいため記載を省略しています。

なお、当該企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響額は以下のとおりです。(非レビュー情報)

売上収益：813百万円

四半期利益：△1,808百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位:百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効領域	地域	2020年3月期				2021年3月期			
			第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	8,997	11.4%	15,181	1.0%	7,576	△15.8%	12,093	△20.3%
		日本	1,430	△18.5%	2,571	△19.0%	1,079	△24.6%	1,872	△27.2%
		中国	5,953	23.3%	9,509	7.3%	4,946	△16.9%	7,273	△23.5%
		アジア EMEA	855 757	18.0% △1.2%	1,726 1,375	13.3% △6.3%	1,098 454	28.4% △40.1%	1,946 1,001	12.7% △27.2%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	781	△1.7%	1,472	1.9%	917	17.4%	1,367	△7.1%
		日本	230	△13.4%	414	△14.0%	188	△18.5%	290	△29.9%
		中国	363	5.2%	585	△2.4%	327	△9.7%	554	△5.3%
		アジア	188	2.2%	473	30.0%	402	113.5%	523	10.5%
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,613	13.3%	5,405	12.9%	2,959	13.2%	5,665	4.8%
		日本	1,286	0.3%	2,521	△1.1%	1,336	3.9%	2,294	△9.0%
		アジア	186	30.7%	383	24.2%	230	23.8%	515	34.4%
		EMEA	1,142	29.2%	2,501	29.6%	1,393	22.0%	2,856	14.2%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	9,025	△0.8%	17,901	△0.6%	9,116	1.0%	17,306	△3.3%
		日本	4,712	△2.4%	9,123	△4.5%	4,605	△2.3%	8,476	△7.1%
		中国	165	86.1%	395	73.5%	230	39.4%	704	78.1%
		アジア EMEA	961 3,186	0.7% △1.1%	1,892 6,491	1.9% 1.8%	954 3,327	△0.8% 4.4%	1,940 6,187	2.5% △4.7%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	10,462	△8.8%	21,045	△4.3%	10,728	2.5%	20,636	△1.9%
		日本	3,792	△23.1%	7,723	△13.4%	3,818	0.7%	7,002	△9.3%
		アジア	2,033	12.9%	4,052	10.3%	2,100	3.3%	3,975	△1.9%
		EMEA	4,637	△2.1%	9,270	△1.3%	4,810	3.7%	9,659	4.2%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液) (*チモプトールXE点眼液を含む)	緑内障治療剤	合計	1,284	△15.0%	2,504	△12.9%	1,131	△11.9%	2,039	△18.6%
		日本	711	△19.1%	1,349	△18.0%	616	△13.3%	948	△29.7%
		アジア	117	8.2%	226	2.2%	119	1.3%	260	15.3%
		EMEA	456	△12.8%	929	△7.8%	396	△13.2%	831	△10.5%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,279	△0.6%	4,424	△3.5%	2,262	△0.7%	3,889	△12.1%
		日本	702	△8.7%	1,350	△8.4%	670	△4.6%	1,054	△21.9%
		アジア	228	14.9%	411	△1.0%	178	△21.9%	301	△26.8%
		EMEA	1,349	1.7%	2,663	△1.3%	1,415	4.9%	2,534	△4.9%
エイベリス点眼液 (オミデネバグ イソプロピル点眼液)	緑内障治療剤	合計	637	—	1,629	278.1%	1,209	89.8%	2,716	66.7%
		日本	637	—	1,629	278.1%	1,209	89.8%	2,716	66.7%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液) (*アレジオンIX点眼液を含む)	抗アレルギー点眼剤	合計	4,933	0.8%	24,916	28.1%	7,694	56.0%	28,761	15.4%
		日本	4,933	0.8%	24,916	28.1%	7,694	56.0%	28,741	15.4%
		アジア	—	—	—	—	—	—	20	—
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	1,786	2.2%	2,996	△9.3%	1,467	△17.8%	2,713	△9.5%
		日本	624	△18.8%	1,272	△22.5%	495	△20.7%	1,003	△21.1%
		中国	827	10.7%	1,243	0.9%	810	△2.1%	1,357	9.2%
		アジア	335	45.1%	482	11.9%	162	△51.5%	353	△26.6%
カリーユニ点眼液 (ピレノキシ点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	2,110	△0.3%	4,056	△0.5%	2,055	△2.6%	3,543	△12.7%
		日本	1,327	△1.1%	2,501	△4.0%	1,244	△6.2%	2,200	△12.0%
		中国	370	△12.2%	704	△7.4%	397	7.2%	531	△24.6%
		アジア	413	17.3%	852	19.6%	414	0.2%	812	△4.7%
Oftan Catachrom (オフトンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	1,233	4.7%	2,241	△6.5%	1,066	△13.5%	1,903	△15.1%
		EMEA	1,233	4.7%	2,241	△6.5%	1,066	△13.5%	1,903	△15.1%
オペガンハイ眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	合計	1,183	11.2%	2,672	24.0%	1,085	△8.3%	2,096	△21.5%
日本	1,183	11.2%	2,672	24.0%	1,085	△8.3%	2,096	△21.5%		
アイリーア硝子体内注射液 (アフリベルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	合計	30,750	9.7%	60,138	7.1%	33,293	8.3%	60,815	1.1%
日本	30,750	9.7%	60,138	7.1%	33,293	8.3%	60,815	1.1%		
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	10,070	△3.6%	17,609	△6.8%	9,709	△3.6%	17,601	△0.0%
		日本	4,111	△9.0%	7,849	△10.4%	3,604	△12.3%	6,227	△20.7%
		中国	4,872	19.3%	7,856	3.8%	4,774	△2.0%	9,201	17.1%
		アジア	1,086	△41.1%	1,904	△26.0%	1,331	22.5%	2,174	14.2%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	9,016	17.4%	15,970	3.9%	7,108	△21.2%	14,288	△10.5%
		日本	7,773	11.6%	14,257	2.3%	6,080	△21.8%	12,209	△14.4%
		中国	81	—	167	561.1%	243	200.2%	558	233.9%
		アジア	1,162	62.3%	1,546	9.7%	785	△32.4%	1,521	△1.6%
Ikervis(アイケルビス) (シクロスロリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	1,771	13.5%	3,851	13.6%	2,076	17.2%	4,617	19.9%
		アジア	360	84.4%	738	60.9%	417	15.9%	965	30.8%
		EMEA	1,412	3.4%	3,113	6.2%	1,660	17.5%	3,652	17.3%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	1,588	37.7%	2,912	15.9%	1,605	1.0%	3,419	17.4%
		アジア	121	51.9%	265	57.7%	125	3.9%	293	10.7%
		EMEA	1,008	3.2%	2,092	5.2%	1,024	1.6%	2,324	11.1%
		米州	460	375.9%	555	56.3%	455	△0.9%	802	44.4%
レンティス コンフォート	白内障治療用 眼内レンズ	合計	474	—	1,065	728.6%	464	△2.0%	1,138	6.8%
		日本	474	—	1,065	728.6%	464	△2.0%	1,138	6.8%
一般用医薬品		合計	6,710	△11.3%	12,034	△15.4%	5,004	△25.4%	9,300	△22.7%
		日本	6,556	△11.6%	11,722	△15.8%	4,827	△26.4%	9,000	△23.2%
		アジア	154	4.0%	312	6.5%	177	15.0%	300	△3.9%

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については当初想定為替レートで換算して表示しています。

（2）開発状況

2020年10月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	DE-109 (STN10109)	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア	2015年4月					
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／ チモロールマレイン酸塩	DE-111 (STN10111)	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF <sub>2</sub> α誘導体およびβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オミデネパグ イソプロピル	DE-117 (STN10117)	緑内障・高眼圧症	宇部興産と 共同開発	米国						
				日本	2018年11月					
				アジア	2019年12月					
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2018年9月にフェーズ3試験を開始。日本で、2018年11月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、韓国などで2019年12月以降、順次販売承認を取得。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
sepetaprost	DE-126 (STN10126)	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国	(フェーズ2b)					
				日本	(フェーズ2b)					
FP受容体およびEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国および日本で、フェーズ2b試験を完了。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	DE-127 (STN10127)	近視	Singapore Health Services社、 南洋理工大学	日本	(フェーズ2/3)					
				アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月にフェーズ2/3試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										
—	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
緑内障用デバイス	DE-128 (STN20001)	緑内障	自社	米国	2020年6月					
				欧州	2019年1月					
				アジア	2020年3月					
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。米国で、2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了。欧州にて2019年1月に発売。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	DE-130A (STN10130, Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						
プロスタグランジンF <sub>2</sub> α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州およびアジアで、2019年4月にフェーズ3試験を開始。										
—	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
眼内レンズ	MD-16	白内障	Oculentis社	日本				2019年11月		
白内障手術後無水晶体眼に挿入する、乱視用（トーリック）眼内レンズ。日本で、2019年11月に製造販売承認を取得。										

開発コードの附番方法変更に伴い、既存開発コード（DE-XXX）および新開発コード（STNXXXXX）を併記しています。

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	4,694	8,971	3,942	10,000

(注) 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総額	2,098	4,267	2,106	4,710
製造経費	1,049	2,144	1,081	2,310
販売管理費	727	1,462	719	1,720
研究開発費	322	661	306	680

(注) 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費および使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総額	4,937	9,898	4,878	9,700
メルク無形資産償却費	2,904	5,808	2,904	5,740
DE-128*無形資産償却費	1,394	2,798	1,372	2,830
Ikervis(アイケルビス)無形資産償却費	343	684	344	710
その他	295	608	258	420

\*DE-128 (PRESERFLO MicroShunt)

■研究開発費

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	11,412	23,341	11,123	23,000
対売上収益比	9.6%	9.7%	9.4%	9.8%

(4) 主要通貨為替レート

(単位：円)

通貨	2020年3月期 第2四半期	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	2021年3月期 (予想)
USドル	108.82	108.81	106.72	110.00
ユーロ	121.28	120.80	121.54	120.00
中国元	15.77	15.64	15.21	15.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。